

2017年8月30日

東京都立小児総合医療センター 夏休み公開講座

小児がん支援のレモネードスタンド

(共催：東京都立小児総合医療センター／認定NPO法人キャンサーネットジャパン)

感想の報告

2017年8月27日(日)東京都立小児総合医療センター 1F 講堂 フォレスト にて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。当日は、25名の保育園児・小中高校生が参加され、うち23名の方から感想を頂きました。(回収率92%)。また、見学の皆様12名からも感想を頂きました。頂きましたコメントは、判読が難しいものも含め、原則全て記載し紹介しています。ご回答ありがとうございます。

また、当日は、セミナーに参加した子どもたちと、ロビーにて、実際にレモネードスタンドを20分ほど開催いたしました。募金活動に参加いただき、約100杯のレモネードを配布し、37,812円の募金が集まりました。ありがとうございました。

(1) 参加者(保育園児・小中高校生)の属性

①性別：男性	26.1%
女性	73.9%
②属性：保育園	4.3%
小学生	52.2%
中学生	21.7%
高校生	21.7%

(2) イベントに申し込んだ理由。

【保育園】

- ・ パパのおみせでレモネードするから

【小学生】

- ・ 小児がんでなくなったアレックスのことをしてアレックスのレモネードスタンドをやってみたいとおもったからイベントに申し込みました。
- ・ 小児がんはどんな病気なのかを知りたくて申し込みました。あと病気でこまった人にぼきんをしてあげたくて申し込みました。
- ・ おかあさんが「これやったら」と言ってきたし、自分でもきょうみをもったから。
- ・ 病院で湯坐先生に教えてもらったから。
- ・ レモネードスタンドをやってみたいから。
- ・ レモネードスタンドをやってみたいから。
- ・ 湯坐せんせいがさそってくれたから。

- ・ 学どうのふうとうに入っていて、人のやくにたちたいと思ったからもうしこんだ。
- ・ いろいろなびょうきについてしつてみたかったからです。
- ・ 母のさそいと自由研究のかだいにするため
- ・ かぞくといっしょにきた
- ・ 様々な病気に興味があり、テレビなどで聞いた事が無い病名が出たりすると、ついついネットで調べてしまいます。母の友人がこのセミナーのスタッフをやられており、母から“やってみる？”と言われたので、ぜひとも参加したいと思いました。

【中学生】

- ・ 小児がんと診断される子ども達が沢山いると知っていながら、どのような病気なのか、どのように治すことができるのか、どれほど重いものなのか知らないのです。そんな無知な私が、軽く「かわいそう」なんて言っているいいものなのでしょうか。私は少しでも小児がんの子ども達について知りたいと思いました。少しでも知識があると何か違った目線で考える事ができるのではないかと、そう考えたからです。
- ・ 小児医療に関心があったから。より深く、小児がんについて知りたかったから。
- ・ 母がけいたいを見ていた時に「あっ、すごい近所だ。家から5分だし」という話しになり申し込みました。
- ・ 友達にさそわれて、ついてきました。
- ・ 私が今回このイベントに申し込んだ理由は2つあります。1.将来、医者になりたい。2.純粋に小児がんについて知りたい、学びたいと思ったから。

【高校生】

- ・ 小児がんについて学べる良い機会だと思ったから。医療関係の仕事に興味があるから。私も人の役に立ちたいと思ったから。
- ・ 昔から医療に興味があったから。
- ・ 母にすすめてもらったから。
- ・ 先月母に「この講説会に行ってみないか」と誘われ、又、テレビ番組で岡山のレモネードスタンドについての特集があり、どのようなものか気になりました。
- ・ レモネードスタンドについて友達から聞いて興味湧いたから。

(3)「小児がん」について思ったこと・感じたこと。

【保育園】

- ・ たいへんだとおもった

【小学生】

- ・ このイベントに参加して小児がんは1,960年よりも2,000年のほうが生存率がたかくなっていることがわかってレモネードスタンドなどをやってけんきゅうなどでよりはよくなおるようになってきたので、ほくもレモネードスタンドをやってけんきゅうなどにさんかしたいです。

- 小児がんの事をよく知れてよかったです。私の近くに小児がんの人がいたら今日習った事を思い返し、手をさしのべる時は手をさしのべてあげて、小児がんの人としっかり向きあえるようにしたいです。
- がんは、どんどんなおりやすくなっていると聞いてびっくりした。がんでくるしんでいる人が、どんどん元気になっていることをしてうれしかった。
- 私は自分が「小児がん」になったので、けいけんした人の話には同じだなと思ったことや、みんな同じような思いで入院しているんだなと思いこのイベントに参加して良かったなと思いました。
- にゅういんやちりょうはたいへんだけど、なおるびょうきなんだとおもいました。
- 小児がんにあった人はつらいんだなと思いました。その人たちを多くたすけたいなと思いました。募金をしておかねをためてたすけたいです。
- むずかしかったけど、べんきょうになりました。
- 小児がんはとてもこわいびょうきなんだと思って前よりもっとびょうきがこわくなった。
- 小児がんについてわかりやすくおれてよかったです。
- がんにたいしてきょうふがあつたが、小児がんは70%~80%治るので、きょうふが少しはうすれた。
- ちりょうがたいへんだとおもった
- このセミナーを受ける前までは、がんはもうかかったら治らない病気だと思っていましたが、先生から“今ではがんは10人中9人が治る病気だよ”と言われて、ほっとしたような気持ちになりました。また、坪内さんの話を聞いて、もし自分ががんになったら坪内さんと同じ様に絶望してしまうと思います。

【中学生】

- がんというのはうつるものではない→何もちゅうちょなく一緒に遊ぶ事ができる。子ども達が子ども達らしく居る事ができる。そう思いました。「髪が抜ける」恐怖、長期入院にたえる子ども達、テレビを見て笑う子ども達、同じ病気で話せる仲間がいること、沢山の出来事を乗り越え今がある。本当に素晴らしいと思いました。
- 大勢の人が研究していても、まだ治りにくいものもあると思った。がんの方と関わりがないけど1,000人に1人もいることにおどろいた。
- 小児がんについては、いろんな本を読んで知りました。一つ分かったことは本に書いてあることと同様に、いろんな検査が行われていることを2、人の先生方の話ではっきりしました。このイベントに参加してとてもよかったですと思いました。また、機会があれば参加したいなと思います。
- 小児がんになった子も、大人になって、うまくそれを使うことができると、初めて知りました。
- 小児がんというものを私はよく知らなくて「がん」はがんでしょ？程度に思っていました。私の周りに同じような病気の人がいたら、他のクラスメイトと同じように接していきたいと思いました。また、差別などがある世の中で、今回学んだことを忘れず

に、誰に対しても明るくしていきたいです。

【高校生】

- ・ 小児がんと戦っている子供たちのために、私も出来ることを行いたいと思った。小児がんはとても難しい病気だが、近年治るようになってきているということも分かった。
- ・ 思っていたより、多くの子供が小児がんになっていると知り、驚きました。小児がんと闘っている子供に何かしてあげたいと思います。
- ・ がんに対して、私は治らないというイメージが強かった。自分からしてみたら善意で、「大丈夫？」と気をつかうのも、病気を経験した人からみればつらいということが、今回分かった。坪内さんの最後の「がんを経験して良かった」という言葉が心にひびきました。
- ・ 私の友人に白血病の人が居て、その人に対して「がんだったから」という理由で特別扱いしてしまったのではないかと反省しました。また、もしまた小児がんのある人に会った時、私はどうすれば良いのかなと思いました。
- ・ 私の周りに小児がんの子がいなかったので体験談を聞く事ができて良かったです。小児がんは治る病気にはなったものの、その後のサポート等大事なんだなと思いました。小児がんの薬にはまだ改良する必要があるんだなとも思いました。

(4)「レモネードスタンド」について思ったこと・感じたこと。

【保育園】

- ・ レモネードうれてたのしかった

【小学生】

- ・ レモネードスタンドをやってきょう多くの方がぼきんをしてくれたりレモネードをのんでくれたりしてレモネードで小児がんの人を1人でも多くすくえとおもいました。
- ・ たくさんの人に飲んでもらうれしかったです。募金もたくさんくださりました。大きい声を出すのははずかしかったけどやってよかったです。私もレモネードスタンドをやりたいです。
- ・ 色々な人が近よってきて、なにやっているの？という感じで、ほかの人がやっているのをまねして、レモネードをのんで、ぼきんをしてあげているのがうれしかった。
- ・ 私もレモネードスタンドをやりたいと思った。でもレモネードスタンドはすごくはずかしかった。
- ・ たいけんできてよかったです。はやくやってみたいです。
- ・ 募金をして思ったことは、もっともっと人をたすけたいです。
- ・ レモネードスタンドやってみてたのしかった。
- ・ ぼきんやレモネードをとってもおいしそうにのんでくれたからとてもうれしかった。
- ・ レモネードをみんなとたのしくぼきんをできてうれしかったです。またやりたいです。
- ・ きふしていただくと自然にえがおがうまれ、またレモネードをのんでいただく事により、のんでいただく方にもえがおがうまれ、温かさをかんじた。

- 売っていて楽しい!! (レモネードを)、レモネードを買ってくれる人達の思いや、小児がんの子達が早く治る為の努力をレモネードに込めて、アレックスちゃんの願い、みんなの願いを叶えたい。

【中学生】

- 「レモネードスタンド」って何だろう?とっていました。レモネードスタンドとは募金する人と、小児がん患者の心をつなぐものだと思いました。これからも続けるべきであると思いました。
- レモネード、何回かつくったけど、水っぽかったり、甘かったり、様々な味になった。友達を募ってレモネードスタンドを開催したいと思った。
- 私は、大人になったら、このことをきっかけに、募金活動をやってみようかなあと思いました。(本当は今からでもやりたいくらい…) ぜひこれからも、この支援の輪が広がってほしいです。これからもがんばってください。ありがとうございました。
- 「レモネードスタンド」は、とても子どもによいかつどうだと思いました。
- アレックスちゃんは自分のことだけではなく、自分と同じような病気のこを助けたい。という思いで「レモネードスタンド」をはじめたと聞いて、私にはぜったいできないってしていました。でも今日、実際にレモネードスタンドをやってみて、今年の文化祭で学校全体でやってみたいと思いました。

【高校生】

- レモネードスタンドを行うことによって、病気の研究が出来るようになるということを知り、たくさんの場所でたくさんの方がレモネードスタンドを通じて病気を知ったり、支援につながればいいなと思った。
- 沢山の人が飲んでくれるし、それによって少しでも小児がんの子供が救われるのなら、とてもいいと思いました。
- ただ単に「募金協力お願いします」というより「レモネードを配る」という何というか子供らしいアイディアで世界に広まっているのかなというのを感じました。アレックスちゃんが亡くなった後も続いているのは、世界中の人々が心を動かされ続けているということで、この運動が「小児がん」について知るひとつの機会になっていることもまた知りました。
- 「レモネードスタンド」は誰もが手軽にすることのできる募金活動なんだと感じました。また、この活動がより多くの人に伝わってほしいと思いました。レモネードを通して、小児がんに対しての理解が深まればいいなと思います。
- 「レモネードスタンド」で声を出したり、移動をしながら人を探したり少し恥ずかしかったですが、「おいしい」やお金を笑顔で箱に入れてくださった方がいてとても嬉しかったです。何かの機会に「レモネードスタンド」を聞きたいと思いました。最後に自分で作ったレモネードがおいしかったです。

(5) 見学者の属性

①性別：男性	8.3%
女性	91.7%
②立場：親	91.7%
その他	8.3%
③参加目的	
小児がんについて知りたかったから	58.3%
子ども・兄弟・姉妹が小児がんだから	16.7%
知人・友人が小児がんだから	8.3%
家族や知人ががん（大腸がん・乳がんなど）なのでがんについて知りたかったから	16.7%
レモネードスタンドのお話を TV で見たことがあったから	50.0%
ボランティア活動や、社会貢献に興味があったから	41.7%
送迎（付き添いのため）	33.3%
その他	33.3%
その他（詳細） <ul style="list-style-type: none"> 娘にも小児がんの可能性があること、また娘が楽しく通っている学校生活を送れない同世代の子がいることを知って欲しかった。自分にも（子どもでも）できることがあることを知って欲しかった。 娘の入院時、同室のお子さんを思い出したので。病気の種類は違うけど、長期治療が必要といった意味では同じと思ったので。 どのようにレモネードスタンドが行われているか、子ども達がどうやるのか知りたかった。 小児医療センターに子供が入院通院歴があり知っている病院だったので。 	

【感想】

- 参加してみて、入院経験のあるお子さんが多いのに驚きました。娘にとってはお店屋さんごっこの様で「楽しかった♪」だけで終わったかもしれませんが、この経験が数年後、または小児がんのお友だちと出会った時につながってくれるといいなと思いました。また、難しく考えがちな「ボランティア活動」が実は身近で小さな子どもたちにも楽しみながらできることということが私自身も発見でした。親子で良い経験をさせてもらったと思います。
- レモネードスタンドを知ることができ、とても素敵な活動だと思いました。機会があれば活動してたくさんの人に知ってもらいたいなと思います。
- 子供にとっても小児がんを知る機会があったことと、同時に治療がすすんでいるという事も子供にとっては大きな安心になったと思います。がんの事だけでなく、“ボランティア”で人のために自分が出来る事をする！も知る事が出来る良い機会になりました。
- 抗癌剤の副作用で口の中が乾燥する事は知っていましたが、味がそんなにもかわって

しまうという事におどろきました。

- 日常生活では自分のことばかりに精一杯になりがちで、社会貢献活動を体験できる良い機会でした。保護者としては素晴らしい講義、体験談を拝聴でき良い時間をすごすことができました。子供には少し難しい内容であったようで、落ちつかずご迷惑をおかけしてしまったのが申し訳なく思いました。
- レモネードスタンドという言葉はTVでしか知らなかったなので、興味を持ちました。娘は心臓を始めとして重複疾患があり、小児医療センターには度々お世話になっています。入院の際に同室だった年上の子が、小児がん？と思われる様子でした。繰り返す入院の中で出逢った沢山のお友達は娘にとって「入院って悪いことばかりじゃないね」と言うものになりました。自分の病気やお友達との出逢いで将来は医療系に進みたいと言っているので参加しました。今日のこの貴重な経験は娘にとって、きっと得るものの大きなものになったと思います。レモネードスタンド、ドキドキしながら頑張っていたと思います。子どもに分かりやすい説明は大人にも分かりやすく…ありがとうございました。無知は人を傷つけます。少しでも理解を深められるようにしたいと思います。テーブルがなく汚い字ですみませんでした。
- レモネードスタンドの取り組みがよくわかりました。たのしかったです。子ども達の活動を通じて多くの方が小児がんについて知ってもらいたいと思いました。
- 小学校1年生の子に小児がんをどのように説明したら分かりやすく伝わるのか、とても難しく今回たまたま主治医の湯坐先生がお話しされるということと娘がレモネードスタンドに興味を持ってくれたということもあり参加しました。これからも何か少しずつ誰かの役に立てることをしていけたらいいなと思いました。久しぶりに入院中お世話になった看護師さんにも会えて嬉しかったみたいです！
- ニュースでレモネードスタンドをみて、私や子供も気軽にはじめられるのではないかと、もっと小児がんについて、理解してもらおう機会を作ることができるのではないかと思います。早速、周囲の方の協力を得ながらやってみる準備をしたいと思います。
- 長女が入院していたので、このイベントに興味を持ち参加させていただきました。機会があれば出来そうなイベントですね。
- 近年、様々なメディアでもがんについての話題が多く、小学生の娘達も「がんで何？」「こわい」と口にすることがあります。専門家や体験者の方から直接お話を伺える今回のイベントを知り、参加させて頂くことにしました。がんについて親子で一緒に学ぶことができとても良かったです。体験者のお人柄が素敵で、特別扱いしないでほしいという言葉が印象に残りました。現在、自分達が元気に過ごせていることに感謝し、病気の方の助けとなることができないかを考え行動する様になりたいと思いました。有難うございました。
- 子供の文化祭で行えないか、学校の方へ相談してみようと思います。小児がんの事、レモネードスタンドの事は、きっかけがないと知ることがないので、今回の体験を、まずは学校の先生、親さん等、私が伝えられる人へ話してみます。湯坐先生のお話もとても分かりやすい説明で、子供達にも、帰りに感想を語りながら帰ろうと思います。

本日はありがとうございました。